

津波アパ

住民、山中で避難生活

AMDA 看護婦 中原さんが帰国報告

大津波で被災したパプア（医師連絡協議会）の看護婦
ニューギニアで緊急救援活 中原美佳さん（31）（大阪
府吹田市在住）が帰国。五



パプアニューギニアの被災地で医療
活動をする中原さん（AMDA提供）

日、岡山市檐津のAMDA本部で「地元民の多くは、津波を恐れ山中深くで避難生活をしているため、衛生状態が悪い」と現地の様子を報告した。

中原さんは先月二十三日、第一陣として医師一人と、現地入り。首都ポート

モレスビーから北西約九百キロの被災地アイタペで、感染症の患者の手術を行った。さらに約十六キロ北西のマロル地区で、二十五日から五日間で、計約三百人のけが人の手当てをし、先月三十一日帰国した。

AMDAは三次まで計六人のスタッフを送り、今月二日までに帰ったが、現地では引き続き、地元政府が派遣した衛生兵などが患者の手当てにあたっている。